

万葉の郷ととりけん

伯耆国
ほうきのくに



やまのうこのおくら
山上憶良



おおとものやかもち
大伴家持



因幡国
いなばのくに

伯耆国

ほうきのくに





因幡国庁跡航空写真
(写真提供=鳥取市教育委員会)



因幡国庁跡と面影山

いなば こくちょうあと

① 因幡国庁跡(国史跡)

因幡国庁跡は平安時代から鎌倉時代にかけて因幡国を治めていた役所の跡であり、大伴家持は因幡国の国守として赴任しています。国庁から東にこしきやま劔山、西におもかげやま面影山、南にいまきやま今木山の因幡三山が三方に見えます。国庁を含む国府域は約六町(約654m)四方と推定され、南側には国分寺や国分尼寺が配置されています。

1977(昭和52)年に僅か20数センチの地下から柱根を残した建物遺構が発見され、国史跡に指定されています。

所 鳥取市国府町中郷

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線
「宮ノ下」下車、徒歩15分



因幡国庁の一般的な復元イメージ

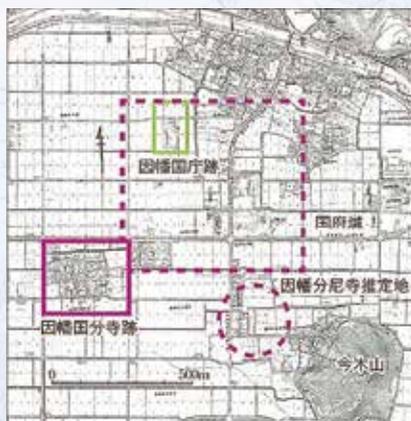
② (因幡) 国分寺の礎石(鳥取市保護文化財)

いなば こくぶんじ そせき

741(天平13)年に聖武天皇の勅願により創建。因幡国府の南西500mに位置し、発掘調査では塔や南門、寺域を示す築地塀、掘立柱建物が確認されました。発掘された礎石が保存されています。

所 鳥取市国府町国分寺

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線
「宮ノ下」下車、徒歩20分



因幡国府域想定図
(『鳥取県の考古学』第6巻(2013)より転載)



(因幡) 国分寺の礎石



とっとりし いなば まんようれきし かん
③ 鳥取市因幡万葉歴史館

万葉集、大伴家持、伊福吉部徳足比売に関する展示があり、古代因幡と万葉文化に触れることができる拠点。館内では万葉植物の庭園や古代衣装の試着体験も楽しめます。



古代衣装の試着体験

- 所** 鳥取市国府町屋726
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(平日の場合)、年末年始
交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「因幡万葉歴史館」下車すぐ、または「因幡万葉歴史館入口」下車、徒歩5分



岡益石堂

おかますはいじ あと おかますのいしんどう
⑤ 岡益廃寺跡／岡益石堂

7世紀末から8世紀初頭に創建された寺院跡。エンタシス石柱の特異な石造物が安徳天皇御陵参考地に治定され宮内庁が管理しています。石堂は円柱と中台に蓮花文やパルメット文などの浮き彫りが施され、中国六朝時代の要素を含んでおり珍しいものです。

- 所** 鳥取市国府町岡益
交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「岡益橋」下車、徒歩15分



かじやまて ふん
⑥ 梶山古墳(国史跡)

7世紀に築造された古墳で、万葉の時代に都に采女を出した伊福吉部氏の墓と推定され、石室に彩色壁画が描かれています。壁画は魚をモチーフにしており、全国的にも珍しいものです。

- 所** 鳥取市国府町岡益
交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「岡益橋」下車、徒歩25分

魚をモチーフにした壁画

因幡国モデルコース

③ 鳥取市因幡万葉歴史館

約0.5km ▼ 徒歩5分
車2分

④ 大伴家持歌碑

約1km ▼ 徒歩10分
車4分

① 因幡国庁跡(国庁跡公園)

約5km ▼ 車10分

⑤ 岡益廃寺跡／岡益石堂

約0.6km ▼ 徒歩10分
車3分

⑥ 梶山古墳

約5km ▼ 車10分

⑦ 伊福吉部徳足比売墓跡

約1km ▼ 徒歩15分
車5分

⑧ 宇倍神社(因幡一言)

歴史あふれる国府町周辺や鳥取市因幡万葉歴史館を観光ガイドがご案内します。

問 いなば国府ガイドクラブ(鳥取市因幡万葉歴史館内)
TEL 0857-26-1780

料 ガイド1名につき1,000円
※一週間前までに要予約

おおもとのやかもち まんよう か ひ

④ (大伴家持)万葉の歌碑(鳥取市史跡)

万葉集の最後を飾る大伴家持の歌碑であり、1922(大正11)年に国府町庁の集落内に建てられたもので、鳥取市の史跡に指定されています。高さ約3mの自然石の表面に「天平宝字三年春正月一日於 因幡国庁賜饗国郡司等之宴歌一首『新年之始乃波都波流能家布敷流由伎能伊夜之家余其騰』(あらたしきとしのはじめのはつはるのきょうふるゆきのいやしけよごと)右一首守大伴宿弥家持作之」と記されています。

所 鳥取市国府町庁

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「因幡万葉歴史館」下車、徒歩5分



大伴家持歌碑
(国府町郷土読本1997より転載)



い ふ き べのとこたりひめのはかあと

⑦ 伊福吉部徳足比売墓跡(国史跡)

地方豪族・伊福吉部氏の娘で、文武天皇に仕えていた采女の墓跡です。

長さ1.4m、幅0.9m、厚さ0.5mの巨石をくり抜いて作られた石櫃が発見され、その中に銅製の骨蔵器が納められています。この骨蔵器の蓋に埋葬当時の由来を記した墓誌108文字が刻まれており、亡くなった後に火葬されたことが記されています。

山陰最古の火葬墓であり、骨蔵器は重要文化財として東京国立博物館に所蔵されています。

所 鳥取市国府町宮下

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「宮ノ下」下車、徒歩30分



とっとりけんまいぞうぶん かざい せんたー

⑨ 鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取県内の遺跡情報を知ることができます。多くの出土品を収蔵しており、展示室では県内で発掘された出土品を見学できます。

所 鳥取市国府町宮下1260

休 土・日・祝日、年末年始

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「奥谷口」下車、徒歩7分



う べ じん じゃ い な ば い ち の み や

⑧ 宇倍神社(因幡一宮)

祭神で祀られている武内宿禰命は360歳まで生きたと言われており、長寿の神として信仰されています。1899(明治32)年に、全国の神社の中で初めて武内宿禰命像と共に宇倍神社の拝殿の絵が五円紙幣に採用され、それ以降数回にわたり紙幣の図柄となったことからお金に縁があるとされ、商売繁盛、金運上昇の神としても全国から多くの参拝客が訪れます。毎年4月21日には宇倍神社例大祭が行われ、祭では、江戸時代から続く伝統の舞「麒麟獅子舞」が奉納されています。

所 鳥取市国府町宮下651

交 JR鳥取駅バス3番乗り場から中河原線「宮ノ下」下車、徒歩10分



⑩ 鳥取県立博物館

鳥取県の歴史・民俗、自然、美術を学ぶことができる総合博物館。奈良時代の木簡や地方豪族・伊福吉部氏に関する資料を見学できます。

所 鳥取市東町二丁目124番地

休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日、年末年始

交 ・JR鳥取駅から100円バス「くる梨」緑コース「11仁風閣・県立博物館」下車、徒歩2分

・JR鳥取駅バス0番・5番乗り場から砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車、徒歩5分

山上憶良

やまのうえのおくら

山上憶良は、奈良時代初期の下級貴族出身の官人であり、歌人として名高く、万葉集に約80首の歌が収められています。憶良は、「子等を思ふ歌」「貧窮問答歌」など、庶民の生活や子どもを思う親心、家族愛を詠んだ歌を多く残しています。

660年頃の生まれと推定され、出自は諸説あり、よくわかっていません。42歳で遣唐使書記に抜擢され、唐に渡り最先端の文化に触れて帰国し、54歳の時に上級官人、716(霊亀2)年に57歳で国守となり、伯耆守に任命されました。その後、726(神亀3)年に67歳で筑前守として赴任し、その地で妻を亡くした大宰府の長官 大伴旅人(大伴家持の父)に挽歌を献呈したことを機に旅人との交流を深め、この旅人との交流が、憶良のその後の活発な作歌活動を生んだとされています。

また、筑前守に赴任した4年後の730(天平2)年に、大伴旅人の邸宅で開かれ、令和の典拠となった梅花の歌32首が詠まれた梅花の宴に出席しています。梅花の歌32首の4番目に歌を詠んでいるのが憶良です。この宴で詠んだ「春されば まづ咲くやどの 梅の花 独り見つ つやはる日暮らさむ(春になると最初に咲く屋敷の梅の花よ、私ひとりで眺めながら、ただ春の一日を暮らすことにしよう)」は梅花の歌32首中の最も優れた歌とされ、憶良の代表作のひとつとなっています。

筑前守を退いて帰京した後、733(天平5)年に病気により74歳でその生涯を閉じました。

憶良は伯耆国(現在の鳥取県中部・西部)の国守として、約5年間を伯耆の地で過ごしたとされています。伯耆国赴任中の歌は確認されていませんが、赴任した間に体験、見聞きた伯耆の自然、文化がこの後の歌づくりに影響したと考えられています。

後に因幡国(現在の鳥取県東部)の国守として万葉集の最後を飾る歌を詠んだ大伴家持も憶良の影響を強く受けていると言われてしています。憶良の「士^{そのこ}も 空^{ちひな}しくあるべき 万代に 語り継ぐべき 名は立てずして(男子として、空しく人生を終わってよいものだろうか。万代の後まで語り継いでいこう名を立てずに。)」に対して、家持は「大夫は 名をし立つべし 後の代に 聞き継ぐ人も 語り継ぐがね(大夫は立派な名を立てるべきである。後の世に聞き継ぐ人もまた語り継ぐように。)」と追和しています。





南西方向から見た伯耆国府跡周辺
(写真提供=倉吉市教育委員会)



伯耆国府跡全体図(提供=倉吉市教育委員会)

① 伯耆国府跡 / 伯耆国府跡・法華寺畑遺跡・不入岡遺跡(国史跡)

伯耆国府跡、隣接する法華寺畑遺跡、国府跡から北東に約1.5km離れた不入岡遺跡で古代伯耆国府に関する遺跡が確認されたため、一括して伯耆国府跡として国の史跡に指定されています。

国府跡は奈良時代から平安時代に至る役所の跡。倉吉市社地区には国府・国分寺・国分尼寺が近接して置かれ、当時の伯耆国における政治、経済、文化の中心地となっていました。

山上憶良が伯耆守として赴任した8世紀初めは、この国府はまだ建立されておらず、憶良が勤務していたのは不入岡遺跡で見つかった初期の国府と考えられています。

法華寺畑遺跡は国府の役所であったものが、国分尼寺に転用されたと考えられます。



伯耆国府の復元イメージ

所 倉吉市国府・国分寺・不入岡

交 JR倉吉駅バス2番乗り場から社線・北谷線「国府」下車、徒歩10分(不入岡遺跡は徒歩20分)



法華寺畑遺跡 復元西門



伯耆国分寺跡(写真提供=倉吉市教育委員会)

② 伯耆国分寺跡(国史跡)

741(天平13)年、聖武天皇の勅願による寺院跡。東西182m、南北160mで、南門、金堂、講堂、塔などが確認されています。

所 倉吉市国府・国分寺

交 JR倉吉駅バス2番乗り場から社線・北谷線「国府」下車、徒歩10分



不入岡遺跡

※交通情報は2019年10月現在のものです。



伯耆国分寺跡北側

やまのうえのおくら か ひ
③ 山上憶良歌碑

伯耆国分寺跡北側

に万葉歌人 山上憶良の「瓜食めば子ども思ほゆ 栗食めばまして偲はゆ いづくより来たりしものそまなかひにもとなかかりて 安眠しなさぬ」の歌碑が2017(平成29)年に建立されました。山上憶良の歌碑の左側にはアララギ派の土屋文明の追慕歌碑もあります。また、鳥取県立厚生病院前の昭和町第3児童遊園地にも山上憶良の歌碑があります。



昭和町第3児童遊園地

【伯耆国分寺跡北側 山上憶良歌碑】

所 倉吉市国府

交 JR倉吉駅バス2番乗り場から社線・北谷線「国府」下車、徒歩10分

【昭和町第3児童遊園地 山上憶良歌碑】

所 鳥取県倉吉市南昭和町(昭和町第3児童遊園地)

交 JR倉吉駅バス2番乗り場から「厚生病院前」下車、徒歩5分



くらよしほくぶつかん くらよしれきし みんぞくしりょうかん
⑦ 倉吉博物館／倉吉歴史民俗資料館

倉吉市とその周辺の遺跡、特に伯耆国庁跡・国分寺跡の出土品など考古資料を展示。また、前田寛治、菅橋彦など倉吉市にゆかりのある画家や人間国宝 大坂弘道の作品も展示しています。

所 倉吉市仲ノ町3445-8

交 JR倉吉駅バス2番乗り場から関金・広瀬・倉吉パークスクエア方面「市役所・打吹公園入口」下車、徒歩5分

休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



しとり じんじゃ ほう きいちのみや
④ 倭文神社(伯耆一宮)

伯耆一宮として知られ、延喜式神名帳にその名が見られる格式のある神社。創建は明らかではありませんが、大国主命の娘である御祭神・下照姫命が出雲からこの地に着き、御冠山を背後にしたこの社地に住居を定めたことに由来すると伝えられています。

所 東伯郡湯梨浜町大字宮内754

交 JR松崎駅からタクシーで10分、下車後徒歩5分



(写真提供=上淀白鳳の丘展示館)

かみよどはいじ あと
**⑧ 上淀廃寺跡(国史跡)／
 上淀白鳳の丘展示館**

7世紀末の建立とされる寺院跡。金堂跡から法隆寺金堂壁画と並ぶ我が国最古級の寺院壁画が出土して全国から注目を集めました。近くに併設されている上淀白鳳の丘展示館では、館内に金堂内部を復元し、往時の上淀廃寺を想起させる展示を行っています。特に出土した塑像片をもとに復元された丈六の釈迦如来像、脇侍菩薩像が見どころです。

所 米子市淀江町福岡977-2(上淀白鳳の丘展示館)

交 JR淀江駅から徒歩20分

休 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(上淀白鳳の丘展示館)

伯耆国モデルコース

⑦ 倉吉博物館 / 倉吉歴史民俗資料館

約5km ▼ 車10分

① 伯耆国府跡 / 伯耆国庁跡・法華寺畑遺跡

▼ 徒歩3分

③ 山上憶良歌碑 (伯耆国分寺跡北側)

約12km ▼ 車20分

⑥ 齋尾廃寺跡

約40km ▼ 車40分

⑨ 大山/大山寺/大神山神社奥宮

約16km ▼ 車25分

⑧ 上淀白鳳の丘展示館

約20km ▼ 車30分

⑩ 粟嶋神社

⑤ みとくせん 三徳山

さんぶつ じなげいれどう

/三仏寺投入堂(国宝)

706(慶霊3)年に役行者が修験道の行場として開山したとされる三徳山三仏寺。険しい行者道を登ったところに現れる奥院投入堂(国宝)は、県内最古の平安時代の建築物で、日本一危険な国宝鑑賞として有名です。



所 東伯郡三朝町三徳

交 JR倉吉駅バス3番乗り場からバス三朝線「三徳山参道入口」下車

さいのおはいじ あと ⑥ 齋尾廃寺跡(国特別史跡)

白鳳時代の寺院跡で、法隆寺式伽藍配置を取った山陰で唯一の国特別史跡。大山山麓の広々とした土地に塔・金堂・講堂・中門などの跡を見ることができます。堂塔に安置されていた小さな仏像が出土しており、その表情は優しく微笑しているようです。

所 東伯郡琴浦町槻下

交 JR浦安駅からタクシーで10分

齋尾廃寺復元CG (提供=琴浦町教育委員会)



だいせん だいせん じ おおがみやまじんじゃおくのみや ⑨ 大山/大山寺/大神山神社奥宮(国重要文化財)

開山1300年を迎えた大山は、大伴家持の生誕と同じ718(養老2)年に開山したとされ、神と仏を共に祀る信仰の山です。

大山寺阿弥陀堂には金色の巨大な阿弥陀三尊が安置され(いずれも国重要文化財)、大神山神社奥宮(国重要文化財)の拝殿は、翼を広げたような美しい長廊が特徴です。



所 西伯郡大山町大山

交 JR米子駅バス4番乗り場から大山線「大山寺」下車、徒歩10分

あわしまじん じゃ ⑩ 粟嶋神社

すくなびこなのみこと

国造りの神である少彦名命を祭る古社。粟を蒔いて、実ってはじけた粟の穂に乗って常世の国へ渡ったと伝えられる地で、少彦名命を詠んだ生石村主真人の「大汝 少彦名のいましけむ 志都の石屋は 幾代経ぬらむ」の歌が記された万葉歌碑があります。

所 米子市彦名町1404

交 JR米子駅バス2番乗り場から内浜線「粟嶋神社前」下車、徒歩5分

鳥取県の西隣の島根県にも石見国(現在の島根県西部)、出雲国(現在の島根県東部)の国司として万葉歌人 柿本人麻呂、門部王が赴任しており、多くの歌が詠まれています。



柿本人麻呂は、700年代の初めに、石見国(現在の島根県西部)の国司として赴任したとされていますが、人麻呂に関する記録はあまり残っておらず、その詳細はわかっていない部分が多くあります。

飛鳥時代の歌人であらゆる面において新しい歌の世界を開いた歌聖とも言われ、作歌の量、質といい万葉の頂点に立つ一人です。歌の内容も多方面にわたり、荒都を悲傷する歌、皇子、皇女に関わる歌、妻に関する歌などが万葉集に収められています。人麻呂が残した多くの歌の中で代表作の一つが石見の地で歌った「石見相聞歌」であり、その歌のなかには、江津周辺の地名がいくつか詠みこまれています。



奈良時代の皇族であり、天武天皇の曾孫にあると言われています。出雲国(現在の島根県東部)の国守に赴任したのは、720(養老4)年から733(天平5)年までのいずれかの時期と考えられています。

人間味豊かな歌人であり、万葉集巻三に「出雲守門部王、京を思ふ歌」として「飢宇の海の 河原の千鳥 汝が鳴けば 我が佐保川の 思ほゆらくに」が収められています。飢宇の海は島根県の中海、佐保川は奈良の都を流れる川です。中海にそそぐ意宇川のほとりで千鳥の鳴き声が聞こえてきたため、奈良の佐保川を思い出し、遠く離れた都をしのぶ望郷の念を詠んだ歌です。この佐保川は、大伴家持の祖父 大伴安麻呂の佐保の邸で知られ、家持も住んだ邸宅です。佐保川右岸から北方の佐保山にかけての一带は、佐保の内とも呼ばれ、貴族の住宅地であり、門部王の邸宅もこのあたりにあったと言われています。

◆ゆかりの万葉歌人年表

	西 暦	年 号	関 係 事 項	
飛鳥時代	初期万葉	660 齊明天皇 6年	山上憶良、生まれる (推定)	
	白鳳万葉	684 天武天皇 13年	柿本人麻呂、改姓で朝臣となる	
		700 前後		柿本人麻呂、石見国司となる
		701 大 宝 元年	大宝律令成立	
		702 2 年	山上憶良、遣唐使として中国に渡る (四三歳)	
		704 慶 雲 元年	山上憶良、帰国 (四五歳)	
	708 和 銅 元年	柿本人麻呂、石見にて没する (推定)		
奈良時代	平城万葉	710 和 銅 3年	平城京に遷都	
		716 靈 亀 2年	山上憶良、伯耆守となる (五七歳)	
		718 養 老 2年	大伴家持、生まれる	
		719 3年	門部王、伊勢守として按察使を兼任する	
		720～733 (未確定)	養 老 4年～	門部王、出雲守となる
		天 平 5年		
		724 神 亀 元年	聖武天皇の即位	
		726 3年	山上憶良、筑前守となる (六七歳)	
		728 5年	大伴家持の父・旅人 大宰帥 (長官) となる (家持 一歳)	
		730 天 平 2年	山上憶良、令和の典拠となった梅花の宴に参加 (七一歳)	
	731 3年	大伴家持の父・旅人、没する (家持 一四歳)		
	733 5年	山上憶良、没する (七四歳)		
	天平万葉	745 17年	門部王、没する	
		746 18年	大伴家持、越中守となる	
			弟・書持、没する (家持 二九歳)	
		751 天平勝宝 3年	大伴家持、少納言となる (三四歳)	
		758 天平宝字 2年	大伴家持、因幡守となる (四一歳)	
		759 3年	大伴家持、因幡国庁で新年の賀歌をつくる (四二歳)	
		764 8年	大伴家持、薩摩守となる (四七歳)	
		767 神護景雲 元年	大伴家持、大宰少弐 (次官) となる (五〇歳)	
774 宝 亀 5年		大伴家持、相模守となる (五七歳)		
776 7年		大伴家持、伊勢守となる (五九歳)		
780 11年	大伴家持、参議となり、右大弁を兼ねる (六三歳)			
783 延 暦 2年	大伴家持、中納言となる (六六歳)			
784 3年	大伴家持、持節征東將軍となる (六七歳)			
785 4年	大伴家持、没する (六八歳)			
平安時代	794 13年	平安京に遷都		
	806 25年	大伴家持、本位に復す。		

万葉集には主に飛鳥時代から奈良時代にかけて約130年間の歌が収められており、歌が詠まれた時期によって「初期万葉」「白鳳万葉」「平城万葉」「天平万葉」の4つの時期に区分されます。初期万葉は素朴でおおらかな歌、白鳳万葉は力強い歌、平城万葉は個性にあふれた多彩な歌、天平万葉は繊細で観念的な歌が多いという特徴があります。柿本人麻呂は白鳳万葉、大伴旅人・山上憶良は平城万葉、大伴家持は天平万葉の代表的な歌人です。

万葉集の基礎知識

万葉集の発案者や作成の目的など詳しくわかっていませんが、万葉集に収められている歌の表現様式や種類にはさまざまな形があります。知っている、「万葉集」の面白さがより実感できます。



藍紙本万葉集（複製）(写真提供 = 鳥取市因幡万葉歴史館)

「万葉集」の歌の種類

三 大 部 立	ぞう 雑 か 歌	相聞歌・挽歌に分類されない歌で、自然や宮廷の儀式、旅などで詠んだもの。公的な場所で詠まれることが多い。
	そうもん 相 聞 歌	男女の恋の歌を詠んだものが多い。公的な雑歌に対して私的性格が強い。
	はん 挽 か 歌	人の死にまつわるもの。死を悼む歌や臨終の歌、死者を追慕する歌などがある。

「万葉集」の歌のかたち

ちようか 長歌 (約260首)	5・7とくり返し、5・7・7で結ぶ歌。5・3・7の結びや、最後の句を繰り返すものもあります。「万葉集」は長歌に添え、主題の要約、補足などをする反歌(短歌)が見られます。
たんか 短歌 (約4,200首)	5・7・5・7・7の5句で詠まれた歌。字余りもあります。
せどうか 旋頭歌 (約60首)	5・7・7/5・7・7の6句で詠まれ、同じ句を繰り返す民謡的な歌も多くあります。
ぶっそくせきか 仏足石歌 (約1首)	奈良・薬師寺の石に刻まれた5・7・5・7・7・7の6句の歌。太古の歌謡が起源と言われています。

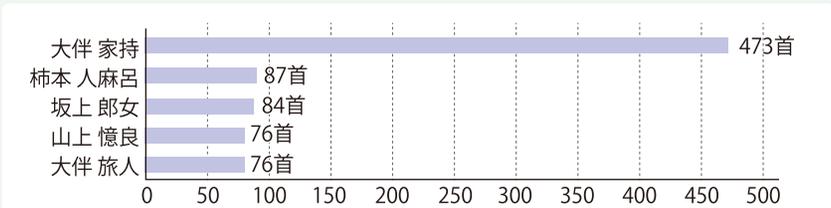
巻数でわかる歌の特徴

「万葉集」は全20巻が年代順にまとめられているわけではありません。

巻ごとに収められた歌の特徴があります。

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 巻-1: 宮廷を中心にした雑歌 | 巻-11: 恋の歌・相聞歌のやりとり |
| 巻-2: 巻-1に同じ。相聞歌・挽歌 | 巻-12: 巻-11に同じ |
| 巻-3: 巻-1・2を補う歌 | 巻-13: 長歌を中心とする歌謡風の歌 |
| 巻-4: 巻-3に同じ。恋のやりとりの歌 | 巻-14: 東国で歌われた東歌 |
| 巻-5: 大宰府を中心にした歌 | 巻-15: 遣新羅使の歌
中臣宅守と狭野茅上娘子の悲恋の歌 |
| 巻-6: 宮廷を中心にした歌 | 巻-16: 伝説の歌、おどけた歌 |
| 巻-7: 旅の歌など | 巻-17: 大伴家持の越中国への赴任前後の歌など |
| 巻-8: 四季ごとの歌 | 巻-18: 大伴家持の越中守時代の歌など |
| 巻-9: 旅と伝説の歌 | 巻-19: 大伴家持の越中守時代と帰京後の歌など |
| 巻-10: 季節の歌 | 巻-20: 大伴家持の在京中の贈答歌、宴席歌、防人の歌など |

万葉集に収められている歌人ごとの歌の数



参考文献 中西進監修 (2011) 『楽しくわかる万葉集』 ナツメ社
 坂本敬法編 (2017) 『万葉集 いにしへの歌を旅する』 洋泉社
 下田忠著 (1986) 『万葉の歌 - 人と風土 - @中国・四国』 保育社
 坂本勝監修 (2006) 『図説 地図とあらすじで読む万葉集』 青春出版社
 村田右富実監修 (2015) 『よみたい万葉集』 西日本出版社

万葉グルメ ～奈良時代の食事～

文献資料や出土した木簡などから、奈良時代の食事の様子が明らかになってきました。

ナス・レンコン・ウリ・大根などの野菜や根菜類、鹿・鴨などの肉類、鮭・アワビなどの魚介類、ワカメなどの海藻類を煮たり焼いたりして調理していました。調味料は、塩・醤^{ひしお}・酢・末醤(味噌)などが使われましたが、醤・酢・末醤は貴重品で庶民の口には入りませんでした。

また、平城京から出土した因幡国からの荷札木簡には、海藻、鮎の日干し、鮭、干し肉などが記載されており、特産物として貢納されたことが分かります。

因幡国守 大伴家持の「ある日」の食事

因幡国で採れた山海の幸に舌鼓。
あまりのおいしさにお酒が進みます。
「おっ！…一首、ひらめいた！！」



【酒】

【主食】 白米のご飯

【汁物】 カブの汁

【主菜・副菜】

焼きブリ、アワビと大根の煮物、山芋、里芋、煮豆、鹿肉、鴨肉、枝豆など

【漬物】

シウガの醤漬け

ウリのカス漬け

【デザート】

柿、クリ、クルミ

【調味料】

醤(ひしお)、塩

国庁で働く役人の「ある日」の食事



玄米ご飯に、吸い物、あえ物、煮物、焼き魚など。「海藻」は因幡国からの荷札木簡にも見られます。

庶民の「ある日」の食事



簡素な一汁一菜。主食は玄米や雑穀が中心。醬や酢は支給されず、調味料は塩のみ。

※復元された食膳の写真：鳥取市因幡万葉歴史館提供

アクセス



飛行機

※運航等の詳細は、航空会社にご確認ください。2019年10月時点

羽田空港	ANA (1日5便)	鳥取砂丘 コナン空港	約1時間 15分
	ANA (1日6便)	米子 鬼太郎空港	約1時間 20分



鉄道

※時間は目安です。

東京・名古屋 京阪神方面	鳥取	大阪～鳥取 約2時間20分 智頭線経由[特急スーパーはくと]	鳥取	東京	約4時間50分	米子	約5時間30分
九州・山陽方面		岡山～鳥取 約1時間40分 智頭線 宍粟線[特急スーパーいなば]	岡山	名古屋	約3時間10分	約3時間50分	
東京・名古屋・京阪神 九州・山陽方面	米子	岡山～米子 約2時間 伯備線[特急やくも]	米子	京都	約2時間50分	約3時間20分	
				新大阪	約2時間30分	約2時間50分	
			大阪	約2時間20分	約3時間10分		
			岡山	約1時間40分	約2時間		
			広島	約2時間30分	約2時間50分		
			博多	約3時間30分	約3時間50分		
			熊本	約4時間10分	約4時間30分		
			鹿児島中央	約4時間50分	約5時間10分		



自家用車

※時間は目安です。

	鳥取	倉吉	米子
名古屋	4時間20分	5時間	5時間
大阪	2時間30分	3時間20分	3時間20分
岡山	2時間30分	3時間	2時間
広島	4時間	3時間20分	3時間
坂出	2時間50分	2時間20分	2時間20分



鳥取県地域づくり推進部文化政策課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220 TEL.0857-26-7134 FAX.0857-26-8108

公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/artpiatottori>

公式Twitterページ
<https://www.twitter.com/artpiatottori>

詳しくはこちら!

鳥取県 万葉の郷とっとりけん 検索

